

## 令和5年度前期 期末考査 レポート課題

講義名	家族法		
担当名	馬場 陽 先生	時間	火曜日 夜1・2限

字数	3000字	レポート提出先	: 学生部窓口
		提出期限	: 7月31日(月)

<p><b>レポート課題内容</b></p> <p><b>注意事項</b></p> <p>① 答案には学籍番号と氏名を明記すること。</p> <p>② 問題文を書き写す必要はないが、問題番号を明記すること。</p> <p>問1 AとBは夫婦である。Aは、Bと別居して半年後に新しい恋人であるCと知り合い、すぐに同居をはじめた。</p> <p>(1) BのAに対する離婚請求の成否について述べなさい(10点)。</p> <p>(2) AのBに対する離婚請求の成否について述べなさい(10点)。</p> <p>※ 解答に当たっては、必ず民法の条文を摘示すること。また、関連する最高裁判決がある場合は、その内容にも言及すること。</p> <p>問2 遺言について厳格な様式が要求されているのはなぜか。それにもかかわらず、方式違反の遺言をできるだけ有効なものとして解釈しようとする裁判例や学説があるのはなぜか(10点)。</p> <p>問3 Aが死亡した。Aの相続人は子B、Cのみである。Aの自宅から「私の遺産は全部Bに相続させます」という内容のAの2023年1月1日付自筆証書遺言が発見されたが、公証役場でAの遺言を検索したところ、「私の遺産はすべて親友のDに遺贈します」という内容のAの2023年6月1日付Aの公正証書遺言が発見された。B、C、Dの法律関係を述べなさい(10点)。</p> <p>※ 解答に当たっては、必ず民法の条文を摘示すること。なお、遺言の有効性についてはいずれも争いがないものとする。</p>
---